

臘扇忌法要御案内

——清沢満之先生 百十六回忌法要——

初夏の候 皆様におかれましては、ますます為法精進のこととお慶び申し上げます。

さて、本年も難波別院の御後援のもと、臘扇忌法要をお勤めすることとなりました。思えば、平成九年に難度会が大阪において臘扇忌法要を始めて以来、今回で二十二回目となります。その間、清沢師の思想、あるいはその信仰運動等の研究は下火になるどころか、大谷派内外の諸分野の研究者を交え、新たな視点が見出されながら、いよいよ活況を呈しているように感じます。最近では清沢師を、その思想的解明のみにとどまらず、明治以降の「近代仏教」形成の中で、精神主義が同時代の社会へ及ぼした影響や役割等の周辺事情を通して、更に多角的に明らかにしようとする傾向にあるようです。また、清沢面受の門弟の中でも、いわゆる「三羽鳥」(暁鳥敏・佐々木月樵・多田鼎)以外に、安藤州一や井上豊忠といった同人に伝播した波紋から、清沢師の人物像を改めて見直す試みもなされております。こういった一層豊かになりつつある清沢研究の動向にも注目しつつ、難度会では今後も臘扇忌をお勤めしてまいる所存です。

本年の記念講演の講師は、大谷大学文学部教授の一楽真先生にお願いしております。願わくは一人でも多くの有縁の方たちと共に、先生のお話を拝聴してまいりたく、謹んで御案内申し上げます。

合掌

平成三十年六月十九日

難度会会員一同

住職・教会主管者及び関係各位

記

日 時	平成三十(二〇一八)年七月二十三日(月)午後六時〜八時半
場 所	難波別院 同朋会館講堂
記念講演講師	一楽真師(大谷大学教授)
参 加 料	千円(記念品代含む)
主 催	難度会
後 援	難波別院

難度会会員 稲垣直来、大橋恵真、奥野賢(事務局)、小谷淳也、後藤裕司、竹中光史、竹中慈祥、玉井久之、千賀貴信、当麻宏文、中尾哲、長洲真史、難波教行、西受秀文、橋田尊光、橋本知良(代表)、秦真哉、秦野貴生、林一信、原田祐生、藤井紀安、前田慈之、松井聡、間野功雄、間野淳雄、森川徹、安間観志(会計)、山雄竜麿、山口知丈、頼尊恒信

※お問い合わせ先 難度会事務局 念通寺内(奥野)〇七二―二六五―二二二一まで